

2008年4月25日

次世代大型全電動式射出成形機「MDS-Vシリーズ」の発売開始

宇部興産機械株式会社(社長:山本謙)は、好評を博している全電動式射出成形機(MDシリーズ)をフルモデルチェンジし、大型全電動式射出成形機としては、3世代目となる「MDS-Vシリーズ」の発売を開始しました。

今回、2003年にバージョンアップさせた「MDS-IVシリーズ」(650t~3000t)のうち、中型(650t~1000t)を先行上市します。大型(1300t~1800t)、超大型(3000t)も順次開発完了次第、MDS-Vシリーズとして上市します。

MDS-Vシリーズの開発コンセプトは、『Value Innovation』をキーワードに、全電動式射出成形機の基本性能を大幅に革新し、性能向上を実現しました。

弊社は、引き続き高付加価値成形が実現可能な全電動式射出成形機をグローバルに提供し続けてまいります。

1. 「MDS-V シリーズ」の特長

- 1 プラテン変形量を従来機比60%に抑えた高剛性型締トルユニットを採用し、バリレス化を実現。金型の耐久性も向上します。
- 2 ワンランク上の金型を搭載可能にしたワイドプラテンと高剛性型締トルユニットにより成形機のクラスダウンが実現できます。
- 3 高精度高応答サーボシステムの採用と射出側摺動部にリニアガイドを採用することで、射出制御の応答性が向上し、きめ細かな射出設定が可能となります。
- 4 設定画面は好評戴いているS-IVの使い良さをそのままに、さらなる機能追加を行い、視認性、操作性、耐久性を向上させたタッチパネルディスプレイを採用しました。
- 5 シール性を向上させた新型ボールネジを型締部、押出部に採用し、グリースの消費量を90%低減させました。ランニングコストの低減とクリーンな状態が保てます。
- 6 従来機と比較し、低騒音ベルト採用と防音カバーを追加することで騒音を大幅に低減しました。作業者及び工場周辺環境に配慮しました。
- 7 操作側安全ドア自動開閉装置に電動式を採用し、かつ標準装備としました。作業性の向上とエアを不要としました(金型関係は除く)。
- 8 従来機は一部のみ電源回生させておりましたが、MDS-Vシリーズでは、すべて電源回生させ、さらなる消費電力低減が可能で、CO2削減に貢献します。
- 9 従来機から好評の弊社の高付加価値成形プロセスである、ダイプレスト(表皮一体貼合せ成形技術、射出発泡成形)、エコプレスト(ガス発泡成形)やインプレスト(金型内塗装成形技術)も容易に搭載可能であり、マルチ成形機としてお客様の成形品差別化に寄与します。

2. MD850S-V シリーズの写真



3. 「MDS-V シリーズ」の主仕様 添付 [仕様一覧表](#) をご参照ください。